

今年度の個人テーマ

コミュニケーションな活動を通して、基本表現が身に付く授業展開の工夫

- 1 題材名 **Speaking Plus 4** 道案内―道順をたずねる・教える
(**New Horizon English Course 2** 東京書籍)

2 題材の目標

- 道順を的確に伝えられるように工夫して説明したり、相手の説明を聞いて理解しようとしたりする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 目的地への徒歩での行き方をたずねたり、教えたりすることができる。 (表現の能力)
- 目的地までどのように行くかの説明を理解することができる。 (理解の能力)
- 道案内についての適切な表現を理解している。 (言語や文化についての知識・理解)

3 題材について

(1) 教材観

Speaking Plus 4 では、**Speaking Plus 1** で学習した **Could you ~?** を使って道順をたずねたり、**Unit4** で学習した **will** を用いて目的地までの行き方を教えたりする活動を行う。道案内の場面としては、主体的に活動に取り組めるように修学旅行先となる京都の地図を用いる。道案内の会話は、1年生で乗り物を使った行き方について既に学習している。ここでは、出発地から目的地までの徒歩での道順をたずねたり、教えたりする表現を学び、道案内の会話の幅を広げさせたい。

(2) 生徒の実態と指導観 (男子 *名 女子 *名 計 *名)

全体的に明るく元気な雰囲気の学級である。授業では、元気よく積極的に発表する生徒も多く、グループ活動やペア活動でも活発に活動することができる。生徒同士の関係も良く、分からないところは教え合ったり、聞き合ったりしながら、協力して学習しようとする雰囲気がある。

○復習テスト (調査人数 *名 *月*日実施)

- | | |
|--|------|
| 1. 「市役所にはどのバスが行きますか。」と尋ねるとき英語でどのように言いますか。 | 正答*名 |
| 2. 1 の質問に対して、「3 番のバスに乗ってください。」と答えるときどのように言いますか。 | 正答*名 |
| 3. 「由美はその犬に水をいくらやりました。」という英文になるように、() 内の語を並べ替えなさい。
(some / the dog / water / Yumi / gave). | 正答*名 |

道案内の表現は1学年の時にも学習している。バスによる行き方についての会話で、“Which bus goes to City Hall?”, “Take Bus No.3.”などを学習した。既習事項についての復習テストによると、正答率は*割程度と低い。これは、同じような場面設定がその後の英語活動にはなく、学習時から1年近く経過しており、忘れてしまった生徒が多いのではないかと思われる。SVOOの文構造については、繰り返し授業で扱っており、定期テストにおいても出題しているにもかかわらず、正答率は*割にとどまる結果となった。学習していたときに身についたように見えても、単発的に終わってしまうと忘れてしまうので、本時の学習でも、既習の表現と結びつけることや、継続的に授業で扱っていくことで、定着を図れるよう指導したい。

4月の学力診断のためのテストによると、4領域とも県平均を上回っており、正答率が高いことがわかる。本時の活動に関わる「話すこと」「聞くこと」の領域をさらに分析してみると、場面に応じて正しい表現を使う問題では場所を確認する表現において、県平均を上回る結果となっている。また、まとまった英文を聞き取る問題では唯一、県平均を下回っている。場面に応じた表現については、項目によって差がみられたので、より実践的な活動の中で繰り返し活用することで、本時の基本表現の定着を図りたい。さらに、相手の説明を聞いて正確に理解できるよう、互いに工夫して伝えられるよう援助していく。

本時の活動では、既習の表現を活かして、より目的意識を持って取り組めるよう、インフォメーション・ギャップの活動を行う。ペア同士で種類の違う地図を持ち、互いに道案内をして自分の知らない情報を導き出していく活動である。活動の達成感をより得られるよう、ポイント制とするなどゲーム的要素を取り入れ、コミュニケーション活動を楽しみながら学べるよう支援したい。

4 学習計画 (Unit4 から Multi Plus3 にかけて)

時	学 習 活 動	関	表	理	知	評 価 規 準
1	There is [are] ...肯定文の形・意味・用法を理解し、表現する。		○	◎		There is [are] ...の表現を用いて、どこに何があるかを正しく説明できる。
2	There is [are] ...疑問文と応答の形・意味・用法を理解し、簡単な対話を行う。		◎	○		Is[Are] there...の表現を用いて、簡単な対話ができる。
3	「Silent Night」の誕生の経緯を知る。動名詞を目的語とする文の形・意味・用法を理解し、表現する。			○	◎	動名詞(目的語)の文の形・意味・用法を理解し、本文の内容を正しく読み取ることができる。
4	「Silent Night」の誕生の経緯を知る。動名詞を主語とする文の形・意味・用法を理解し、表現する。	○		◎		動名詞(主語)の文の形・意味・用法を理解し、本文の内容を正しく読み取ることができる。
5	単元末テスト			◎	◎	本単元で学習したことを正しく理解し、表現できる。
6	クリスマスコンサートに関する対話を聞く。	○		○		案内を聞いて、内容を正しく理解できる。
⑦ 構	目的地までの徒歩での行き方をたずねたり、教えたりする。【習得】【活用】		◎			道案内の表現を適切に使い、目的地までの行き方をたずねたり、教えたりすることができる。
8	町の様子を紹介している文を理解し、自分の町について紹介する。	○	◎			町の様子を紹介する文を理解し、例を参考に自分の町について紹介できる。

5 本時の学習

(1) ねらい

既習事項を用いて目的地までの行き方をたずねたり、教えたりすることができる。

(2) 学び合いの場

ペアで協力しながら会話活動を行う中で、発話の回数をより多くし表現の定着を図る。また互いにジェスチャーを用いたり、聞き返したりしながら会話を進め、的確に伝え合えるよう支援する。

(3) 準備・資料

フラッシュカード、ピクチャーカード、地図

(4) 展開

(・留意点 ●学び合いを支える支援 評価)

学習活動及び内容	学習形態	指導と評価
<p>1. あいさつをする。</p> <p>2. Warm up をする。</p> <p>3. コミュニケーション活動を行う。 (1) 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 目的地までの行き方をたずねたり、教えたりしよう。 </div> <p>(2) 基本表現や本文の表現を確認する。 ・教科書のスキットを用いてロールプレイングを行いながら本時の基本表現を学習する。</p> <p>(3) 道案内の活動を行う。 ①地図を見ながら、スタート地点から ・目的地までの行き方をたずねたり、教えたりする。</p> <p>②行き方を聞いたらメモをとるし。 ・わからない場合は聞き返したり、確認したりしながら活動する。</p> <p>③相手から得た情報を元に、自分の地図を完成させる。 ・会話後、互いの地図を見合わせて正しく伝えられたか確認する。 ・道案内の成功回数を得点化する。</p> <p>4. まとめをする。 (1) 本時の活動を振り返る。 ・活動への取り組みや、目標となっている言語材料の習熟度について自己評価する。</p> <p>(2) 次時の予告を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 自分の町について紹介しよう。 </div> </p> </p>	<p>全 体</p> <p>ペ ア</p> <p>全 体</p> <p>ペ ア</p> <p>ペ ア</p> <p>全 体</p>	<p>・英語で元気よくあいさつすることで、授業への意識と雰囲気を作る。</p> <p>●ペアで協力して、1分以内で基本表現を日本語から英語にする活動をできるだけ多く行うことで、既習事項の定着度をチェックし、本時の学習への心構えとする。</p> <p>・評価のポイントについて知らせ、表現活動への動機づけとする。</p> <p>・身近な話題から導入し、より主体的に課題を捉えさせたい。</p> <p>・既習の表現を確認し、本時のターゲットとなる表現を導き出せるようにする。</p> <p>・新出単語の意味の確認や、基本表現が適切に使えるように読みの練習をしっかりとさせる。</p> <p>・実際の場面設定の中で会話活動を行うことで、基本表現への理解を深めたい。</p> <p>●活動が停滞しているペアには、他のペアの活動を参考に促す。</p> <p>・活動が滞っている生徒には、教科書の表現例を示し、参考にしながら進められるよう支援する。</p> <p>・活動がスムーズに進められている生徒には様々な表現を用いて活動できるよう、tool box の表現例等の使用を促す。</p> <p>・理解が困難な場合は、聞き返したりジェスチャーを用いたりして、日本語に頼らず解決するよう伝える。</p> <p>・活動の様子を観察しながら、よくできている点を賞賛し、励ます。</p> <p>・的確に伝えられたペアにはポイントを与える。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>A. 地図だけを見て、道案内の表現を適切に用い、会話活動ができている。</p> <p>B. 地図と板書を見ながら、道案内の表現を適切に用い、会話活動ができている。</p> <p>(観察・ワークシート)</p> </div> <p>・本時のポイントを再確認し、次時の授業の課題や目標を意識させる。</p> <p>・今回の活動の発展的内容として、次時の学習があることを伝える。</p>

Speaking Plus 4 道案内

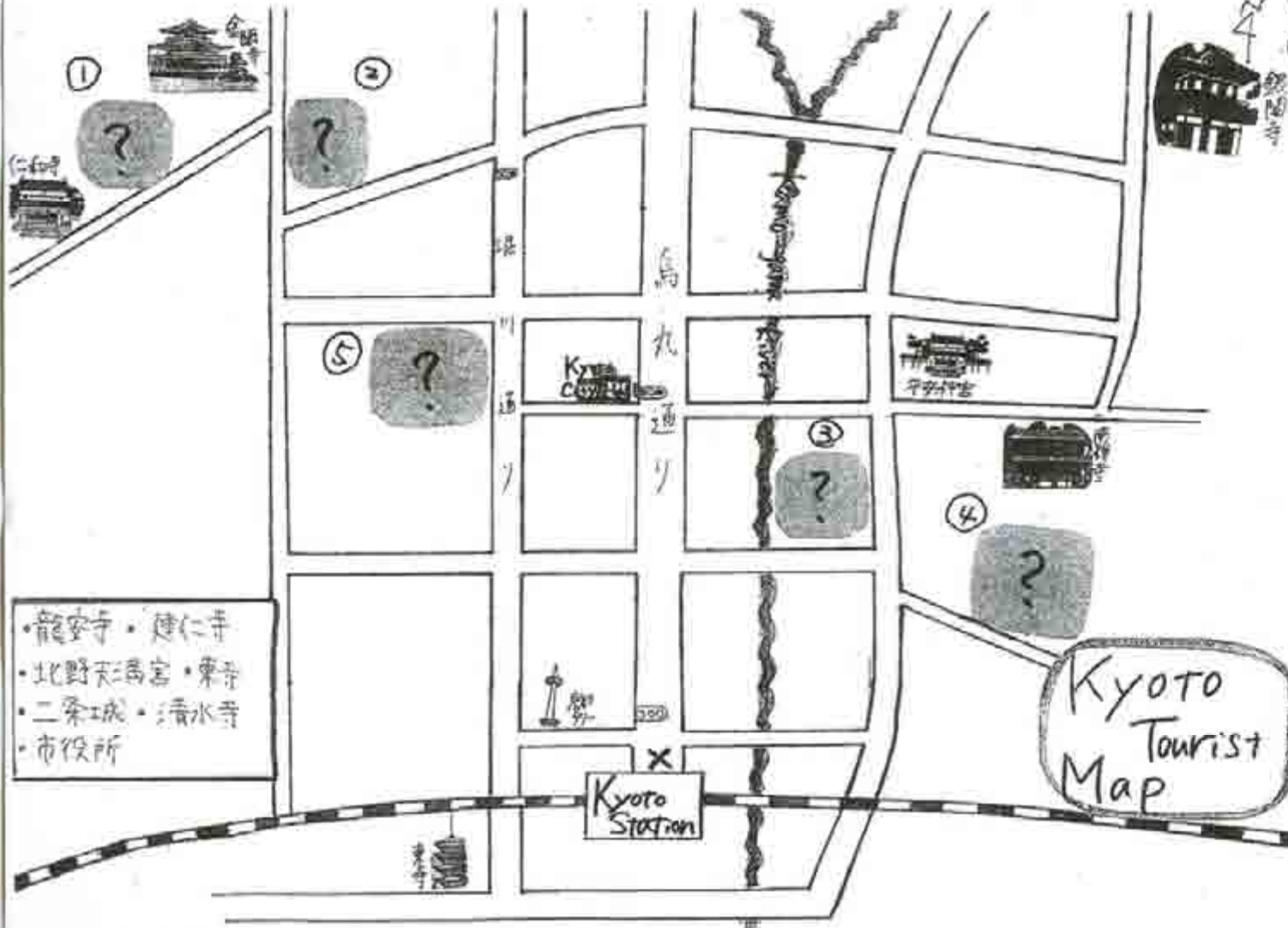
☆京都のガイドマップを見て、観光名所への行き方を説明しよう

《2 points / 1 place》

①	_____	_____
②	_____	_____
③	_____	_____
④	_____	_____
⑤	_____	_____

Total _____

Pair points _____



☆Review☆

①道をたずねる表現を書いてみよう。

②目的地への行き方を説明しよう。

Speaking Plus 4 道案内

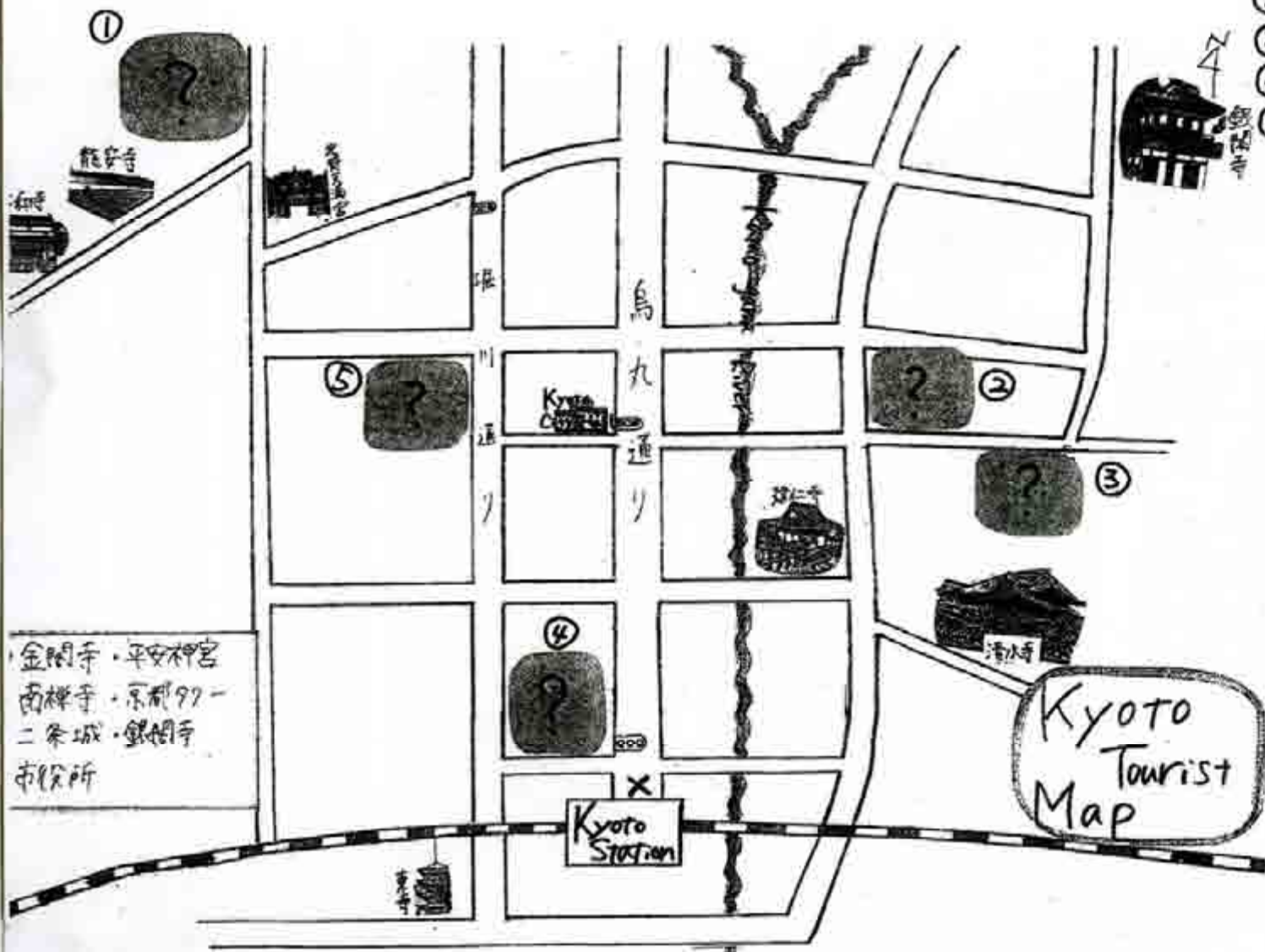
☆京都のガイドマップを見て、観光名所への行き方を説明しよう

《2 points / 1 place》

①	_____	_____
②	_____	_____
③	_____	_____
④	_____	_____
⑤	_____	_____

Total _____

Pair points _____



☆Review☆

①道をたずねる表現を書いてみよう。

②目的地への行き方を説明しよう。
